

第4報

平成28年7月1日

11:50発表

国土交通省九州地方整備局

遠賀川河川事務所

嘉麻市の水質事故を踏まえた水質調査結果（速報）

6月30日15時頃、嘉麻市漆生の工場で発生した水質事故における、河川水の水質調査（室内分析（六価クロム））の結果は以下のとおりです。

下記の全ての地点で0.05mg/リットル以下であることを確認しました。

- ・才田川 2地点（才田樋門、^{えきまえ}驛前橋）
- ・遠賀川 2地点（岩崎大橋、茶屋ノ元橋）

1. 発生日時：平成28年6月30日 15時頃 火災が発生し、その後、工場内（株式会社 ショウエイ九州工場）から液体が流出。
2. 場 所：嘉麻市^{うるしお}漆生（遠賀川支川才田川の上流）
3. 取水停止
 - ・場所：^{いなつきかもお}稲築鴨生浄水場
 - ・取水停止時刻：19時20分（嘉麻市からの情報）
4. 流出した物質・量：無水クロム酸（三酸化クロム） 20リットル が工場内から流出し、その一部が河川へ流出した模様。
5. 水質の状況：
 - (1) 才田川で県が河川水を簡易パックテスト（六価クロム）により測定。
19:26 0.05~0.1mg/リットル
19:36 0.05mg/リットル未満
 - (2) 国土交通省が念のため、才田川、遠賀川にて河川水を簡易パックテスト（六価クロム）により測定。
23:30 0.05mg/リットル未満
才田川（2地点：才田樋門、驛前橋）
遠賀川（2地点：岩崎大橋、茶屋ノ元橋）
 - (3) 国土交通省にて才田川、遠賀川にて上記(2)の際に採水した河川水を用いた室内分析（六価クロム）を実施。
室内分析結果 0.005mg/リットル（定量下限値）以下
才田川（2地点：才田樋門、驛前橋）
遠賀川（2地点：岩崎大橋、茶屋ノ元橋）

※定量下限値とは、その分析法で正確に定量できる最低濃度のことで
です。

【参考：水道法に基づく水質基準 0.05mg/リットル以下】

6. 対応状況： 19:30 遠賀川河川事務所より関係機関へ連絡済み。
19:50 工場内にて土のうによる流出防止の応急対策が完了し、新たな流出は無し。
20:15 工場内にて福岡県嘉穂鞍手保健環境事務所の指導により回収業者が作業開始。
23:05 工場内の流出液体の回収作業完了。
1日 9:17 河川状況について、遠賀川河川事務所により確認を行った結果、魚等のへい死の異常はなし。

【問合せ先】

遠賀川水系水質汚濁防止連絡協議会 事務局：遠賀川河川事務所

福岡県直方市溝堀1丁目1-1（電話：0949-22-1830（代表））

技術副所長 三浦 錠二（内線 205）

河川環境課長 松本 和信（内線 361）

【同時発表記者クラブ】 ■北九州地区、■直方地区、■飯塚地区、■田川地区